

地域の医療をサポートする情報誌

Carepress press

カレスプレス - 愛と信頼の輪 -

2020
秋号
No.43

CONTENTS

特集

時計台記念病院・クリニック 新体制でリニューアル!

MEDICAL ONLINE

訪問診療のご紹介 - 時計台記念クリニック

NURSE*NURSE

FOCUS 倫理推進プロジェクト紹介 - 北光記念病院

TOPICS

防災訓練「お客様の安全・安心を」- ホテル プレミアム・レイク トーヤ



2020年9月より時計台記念病院・クリニックが新体制となり、本館2階にあったクリニックが本館1階に移転・リニューアルとなりました。



—— より良い医療を円滑に提供していくことを目指して

時計台記念クリニック
所長 本田 耕一

令和2年9月1日より、時計台記念クリニックは本館1Fの正面玄関・右手にあった売店のスペースに移転し、新しい診療体制でリニューアルしました（新クリニック）。これに伴い本館2Fにあった旧時計台記念クリニックは時計台記念病院の外来としてスタートしました（新病院外来）。

新クリニックと新病院外来では、それぞれの診療内容の業務分担が行われます。すなわち新クリニックでは専ら初診患者さんの診療を行います。その後の再診～検査～治療～経過観察等は新病院外来で行うということです。

新クリニックでは総合診療科として、初診患者さまへの予診・振り分け業務を主な内容としています。予診・振り分け業務としての診療は、その後に行われる新病院外来での専門的診療に先立ち行われます。その内容は診療経験の豊かな医師たちによる問診と必要な検査の説明ならび

に指示、患者さまの要望の聴取などです。予診を行うことで、その後に行われる新病院外来での専門的診療が円滑に行えるよう取り計らい、より良い医療を円滑に提供していくことを目指しております。

また、紹介状を持たない、あるいは何科にかかってよいかわからない初診患者さまに対しては初期診断を行い、ニーズにあったより適切な診療科への振り分け、あるいは他病院へのご紹介などを行います。このような紹介状を持たない初診患者の場合は新クリニックを経由することで特定療養費などの自己負担分が減額となるなどのメリットが生じます。

新しい体制でスタートした新クリニックが本来目指している役割を十分に発揮できるよう、よろしくご理解とご協力のほどをお願いいたします。



時計台記念クリニック 診療のご案内 ※2020年10月現在

	月	火	水	木	金
午前 9:00～12:30 (受付時間 8:30～12:00)	本田	瀧川	栗原	武田	瀧川
午後 13:00～17:00 (受付時間 12:00～16:30)	佐々木 栗原 <small>ぜんそく COPD外来</small>	佐々木	本田	栗原	佐々木

【診療科目】内科・形成外科・外科 【休療日】土曜日・日曜日・祝祭日
ぜんそく・COPD外来 月曜午後(14:00～16:00)

水曜日午後 本田医師の形成外科診察のご案内

水曜午後に本田医師の形成外科診察を希望される方は、前日までに電話にて受診予約をお願い致します。なお、当日の予約は受けておりませんのでご了承ください。

予 約 窓 口

本田医師の診察を受けたことがある方	クリニック代表電話	011-251-2221
紹介状なしで初めて受診を希望される方		
紹介状をお持ちで受診を希望される方	地域連携課	011-251-1249



時 計 台 記 念 ク リ ニ ッ ク

TEL 011-251-2221 ホームページ <http://www.tokeidaihossp.or.jp/>

2020年9月より新体制になった時計台記念クリニックで行っている訪問診療についてご紹介します。

— 在宅医療とは

医師が定期的（月に1回から2回程度）に自宅または施設に訪問して、計画的に健康管理を行うことを「訪問診療」と言います。発熱などの際、患者さんの求めに応じて臨時で自宅に診療に行くことを「往診」といいます。定期的な「訪問診療」をベースに、緊急時に「往診」を行うのが在宅医療です。保険診療上、在宅医療が受けられる方は、「在宅で療養を行っている患者であって、疾病、傷病のために通院による療養が困難な者」と定義されています。

— 実際の訪問診療の様子をご紹介します

糖尿病や脳梗塞の既往があり、90歳に近くなって4階の自宅から階段を使って外出するのが困難になった方。不調を訴えいったん救急車で専門病院を受診するも、腎臓も悪くて精密検査できない状態でした。何度も往診して薬や点滴を調整。患者さんは何度尋ねても家にいたいと話されました。ご家族と訪問看護師の献身的なケアで、苦しさは軽減され、自宅でお看取りとなりました。ご家族の納得されたお顔が印象的でした。

認知症で精神科に入院歴がある方。薬によって眠りすぎたり動きが悪くなったり、難しいのですが、できるだけ自宅という想いに応えるべく、細やかに調整しています。ちょっとした風邪症状でも不安があれば往診して、状態を分かりやすく伝えると、ご家族も安心して自宅療養を続けられています。

Introduction

時計台記念クリニック
栗原 真紀
内科 医師



脊椎の圧迫骨折後から元気がなくなり、夏の暑さで起き上がれなくなった方。まず点滴を持って往診し、訪問看護と協力して数日間の点滴でお元気に。骨粗鬆症の治療は訪問診療で続けていくことになり、栄養の取り方について院内の栄養課とも連携しながら工夫しています。

高齢者の生活の質が下がる要因として、栄養不足と脊椎圧迫骨折が問題となることが多く、栄養と骨粗鬆症治療について常に検討するようにしています。下腿浮腫も多くみられますが、要因を考えながら2週間おきに診て治療すると改善できることがほとんどです。

受診が大変だから日数をたくさん処方して欲しい、という患者さんこそ訪問診療での細やかな投薬調整が有効であると感じています。

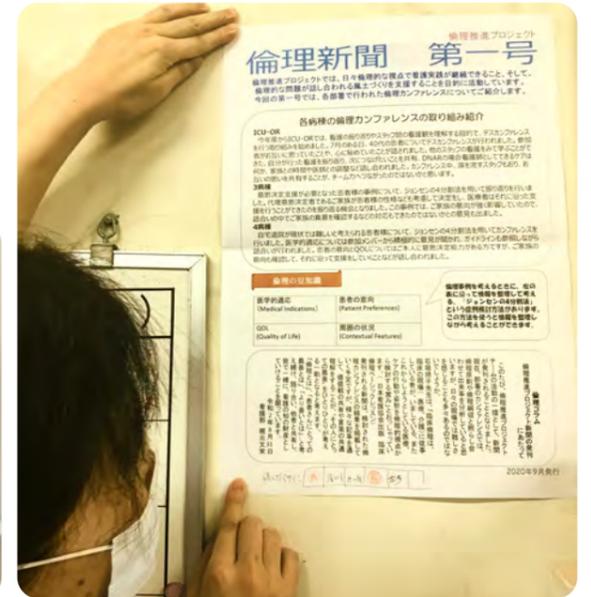
時計台記念クリニック

TEL (011)251-2221
http://www.tokeidaihosp.or.jp/

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目
- 時計台記念病院 1F-



倫理推進プロジェクト紹介



倫理的な視点を高め
育てるための活動

平成30年10月に看護部の倫理教育体制構築を目指して「倫理推進プロジェクトチーム」が立ち上がり、今年で2年目となりました。現在のメンバーは、感染症看護専門看護師、認知症看護認定看護師、栄養サポートチーム専門療法士の3名で構成されており、それぞれの専門性を活かして活動を行っています。

内容としては、看護部教育計画に基づく倫理研修の開催や各部署における倫理カンファレンス開催に向けたサポートを行っており、倫理に関する部署での勉強会の講

師や臨床倫理検討シートを用いたカンファレンスの推進などを行ないました。また、私達の取り組みだけではなく、各部署で開催されたカンファレンスについて紹介する「倫理新聞」を発刊し、看護部全体で倫理的な視点が高まることを期待しています。

現場では特に意思決定支援に関するジレンマが見受けられ、私達の関わりは本当に良かったのだろうか、もっと他に良い方法があったのではないか等、モヤモヤ感が残ることがあります。しかし、これについて振り返りのカンファレンスを行うと、客観的にその時の状況が見え、自分達の気持ちの整理ができ、その時点での最善は尽

くせていたことが分かったりします。カンファレンスが終わる頃には不思議とみんなに笑顔が見られ、言葉にはしませんが、きっと「看護師で良かった！」と思っている瞬間なのではないかと思えます。

「倫理」と聞くと、なにか壮大なものを想像するようですが、意思決定支援のような人生スケールのもだけではなく、もっと身近な、普段の私達の行動の中にも倫理的視点で考えるものはあります。倫理推進プロジェクトでは、看護師が「倫理」をもっと身近に感じ、そして、普段から倫理的視点での振る舞いやディスカッションが出来る風土づくりを目指し、これからも活動を続けていきます。



診療科目

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科・腎臓内科

北光記念病院
http://www.hokko.or.jp/

TEL.011-722-1133
札幌市東区北27条東8丁目1番6号

介護福祉士の取り組み



地域包括ケア病棟には現在5名の介護福祉士が在籍しています。ここに入院される患者さんは、退院調整を必要とされる方が多く、最大2か月という期間をこの病棟で過ごされます。他にも認知症の患者さんも入院されています。入院期間中、少しでも快適に過ごしていただけるようメンバー全員で看護師や理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーと相談、協力しながら患者さんのケアにあたっています。毎日の生活援助に加え、特に院内デイケアの開催は患者さんに好評を得ている取り組みの一つです。実施内容と

3病棟（地域包括ケア病棟）

としては、エクササイズ・口腔ケア・フットケア・作業療法等の項目の中からメニューを選び月2回開催しています。退院後の生活に役立つ内容や、入院中の生活の気分転換にもなっているようです。他には、殺風景な病棟内に少しでも季節感を感じていただくために、病棟内を季節ごとのディスプレイで飾り付けを行っています。（このディスプレイ作成は院内デイケアの作業療法の時間を活用します）患者さんが穏やかに安全に過ごせるよう今後もみんなで頑張っていきます。



北光記念病院 看護部 WEB <http://www.hokko.or.jp/nurse/>

院内認定制度を創設し電話訪問を開始しました！

～病棟看護師から患者様のセルフケア向上を目指した継続看護の取り組み～

2019年から当院婦人科では他職種が関わる骨盤臓器脱の再発予防プログラム入院を始めています。患者さまは手術を受けた後、看護師からケアを受けながら、他職種（セラピスト・排尿専門看護師・栄養士）から指導を受け、自己トレーニングを学び退院します。

今回その患者さま達が、退院後も継続的にセルフケアに取り組んでいるか、その取り組みの支援と必要時再指導、そして退院後になにか困った事がないかの確認を目的として病棟看護師からの電話訪問を開始しました。電話訪問は、院内（部署）認定看護師が担当します。院内認定看護師は沢山の研修や学習を経て“骨盤臓器脱指導看護師”として藤井院長から認定証を授与されます。

記念すべき第一号認定は本館8階病棟吉田看護師で、他2名の看護師が認定を目指して特訓中です。

私たちは今後も患者様にとってより良い看護を実践できるよう常にアイデアを出し合い協力し合っていきたいと考えています。

本館8階病棟

骨盤臓器脱指導看護師（院内認定）までの道のり

- 1 患者さま用DVD視聴学習
- 2 再発予防入院用パンフレット学習
- 3 栄養士から伝達講習
- 4 トレーニング見学（外来大科看護師）
- 5 トレーニング見学（PT小島部長）
- 6 行動変容・経験学習理論講義受講
- 7 手術見学
- 8 学習資料提出

* 以上、全項目を実施し、電話シミュレーションを2回合格した看護師が骨盤臓器脱指導看護師として認定されます。



骨盤臓器脱指導看護師
認定証授与！

時計台記念病院 看護部 WEB <http://www.tokeidaihospi.or.jp/ov-hp/department/nurse/>

新人教育研修の紹介

ハイリスク薬の取り扱い研修をうけて

北光記念病院 赤坂 亮太

今回の研修でハイリスク薬の特徴や取り扱い方について学ぶことができました。講義やグループワークで、注意すべき観察点や投与のポイント、安全確認動作やシリンジポンプの使用方法について理解を深めることができました。

自部署であるカテ室ではハイリスク薬を多く取り扱い、看護師が患者に投与する場面も多くあります。安全・確実に投与ができないと、循環動態に影響を及ぼし、患者の生命の危険につながってしまいます。ひいては治療の妨げになることも考えられるため、今回の学びをもとに安全に実施することができるようにしていきたいです。

BLS研修をうけて

北光記念病院 宮原 早雪

今回の研修では、BLSの一連の流れや技術学ぶことが出来ました。シミュレータを使用し、適切な胸骨圧迫や気道確保の実施また、アンビューバックの使用が行えているか自身が把握しながら技術の習得が出来たと思います。BLSを行う状況は非常に緊急性が高いと共に、患者の生命を守る為にも確実な技術を習得する必要があると思います。今回の学びを日頃から再確認し、緊急時に適切にBLSが行えるようにしていきたいです。



夜間巡視の研修を受けて

時計台記念病院 渡部 広太

夜勤帯で患者さまと関わる上で注意すべきことを学びました。睡眠をしている患者さまにとって少しの物音やライトの光を苦痛に感じ、睡眠が妨げられると感じました。話し声や足音、カートを動かす音などに注意して夜勤を行っていくと思います。また夜勤時は睡眠薬の内服や周囲が暗くなることで転倒のリスクが高くなると感じたので患者さまの安静度や理解力を考えて、トイレの誘導や観察を行いたいです。



夜間巡視の研修を通して学んだこと

時計台記念病院 平野 愛翔

夜は静かな環境となるため、ケアや処置を行う際は、睡眠の妨げにならないよう配慮することや、異常を見逃さないように状態観察・患者さまに必要なケアを行うことが大切だと学ぶことが出来ました。そして、普段穏やかな患者さまが夜間、音にストレスを感じ、日記に怒りの文章を記載していたという実話を聞いた際は、音は精神にも影響を及ぼすことと知り、医療者が無意識に出している音にも注意していきたいと思いました。



TOPICS

▶ 防災訓練「お客様の安全・安心を」－ ホテル プレミアム・レイク トーヤ

ホテル プレミアム・レイク トーヤでは9月3日に消防署本部の指導のもと、従業員全員参加で防災訓練を実施いたしました。

当日は火災・各種災害を想定し、通報連絡班・消火班・避難誘導班・応急救護班に分かれて訓練を行いました。お客様の誘導、安全確認を第一に、初期消火の大切さを実感いたしました。

避難訓練の後には、消火器による消

火訓練を行いました。消防署からは「皆さん冷静に、大きな声で行動していました」と大変よい評価を頂きました。

洞爺湖では、有珠山噴火が懸念されていますが、火山災害にも十分対応出来るようにし、お客様が安心・安全にご宿泊できますよう、従業員一同努力して参ります。



従業員全員で防災訓練を実施しました

ホテル プレミアム・レイク トーヤ ホームページ：<https://premium-lake-toya.jp/>

▶ 避難訓練を実施しました－ 時計台記念病院

7月28日、アネックス3階を出火元とし避難訓練を行われました。

今回はコロナ禍の中、少人数で密を避けた避難訓練としてCCUにおいて人工呼吸器管理、昇圧剤を使用しCHDFを行っている患者1名を模擬患者とし看護師5名、臨床工学技士1名で処置を行い避難させるという想定で行いました。

訓練終了後には実際に参加した人だけではなく見学者も交えてグループワークにて振り返りを行いました。各ルートや器材、器械を処置し安全に

患者を避難させるために誰が何をすべきか気付いた点多々あり大変有意義な訓練となりました。

その後、4月に入職された方30名ほどで水消火器を用いた消火訓練も行われました。



避難時に適切な処置を行えるように訓練

避難訓練では病院だけでなく、自宅や出先の公共施設等においても日頃から消火器や防火戸の位置及び避難経路、避難方法を意識できる事が非常に大事であることを知る機会となればと思います。



避難経路や消火器の位置などを再確認

▶ リハビリテーション部 喀痰吸引手技 フォローアップ研修－ 時計台記念病院

時計台記念病院リハビリテーション部では2019年に初めて喀痰吸引研修を開催し、筆記試験・実技試験を合格したスタッフが、呼吸リハビリテーションや摂食嚥下



安全安楽に配慮した質の高い喀痰吸引

リハビリテーション場面で吸引行為を実施しています。

今回はフォローアップ研修として、「安全（感染含む）安楽に配慮した質の高い喀痰



緊急場面での吸引手技

吸引を実践する」、「緊急場面での吸引手技を獲得する」ことを目的に開催しました。

研修参加者は喀痰研修修了者（理学療法科3名、作業療法科1名、言語聴覚療法科6名）が参加し、吸引手技の確認・緊急場面での吸引対応について実践し、臨床場面での疑問点や一連の手技を再確認することができました。

今後も、可能な限り患者様への負担なく安全に吸引行為が実施できるよう定期的に研修会を開催する予定です。

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihospi.or.jp/>

【基本理念】

原点から考えなおす保健・医療・福祉

～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

社会医療法人社団 caressサッポロ 関連施設のご案内

■ 法人本部

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
 カレスサッポロビル8階

TEL 011-207-1331 FAX 011-207-2332

■ 北光記念病院

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

TEL 011-722-1133 FAX 011-722-0501

【診療科目】

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科
 腎臓内科

■ 北光記念クリニック

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号

TEL 011-722-1122 FAX 011-722-1212

【診療科目】

内科・循環器内科・放射線科・腎臓内科

■ 時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・形成外科
 婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
 泌尿器科

通所リハビリテーション

■ 時計台記念クリニック

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881

【診療科目】

内科・形成外科・外科

■ 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

TEL 011-615-9623 FAX 011-615-2335

介護老人保健施設

短期入所療養介護

通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション

■ ホテルプレミアム・レイクトーヤ

〒049-5721 虻田郡洞爺湖町 洞爺湖温泉 212-3

TEL 0142-75-1011 FAX 0142-75-1012

■ クリニカルシミュレーションセンター

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
 カレスサッポロビル7階

TEL 011-218-3337 FAX 011-218-3338

■ 札幌市中央区介護予防センター北一条

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号
 時計台記念病院アネックス館6F

TEL 011-251-1340 FAX 011-231-5433

地域包括ケア拠点施設

caressプレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

■ よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

【診療科目】

内科（総合診療）・小児科・緩和ケア内科

訪問診療も行っております

通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション

住宅型有料老人ホーム

caressプレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

居宅介護支援事業所 caress介護相談センター

TEL 011-722-3335 FAX 011-722-2233

caress訪問看護ステーション

TEL 011-722-2522 FAX 011-722-2233

caressヘルパーステーション

TEL 011-722-2511 FAX 011-722-2233

caressデイサービスセンター

TEL 011-722-3337 FAX 011-722-2233

caress定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

TEL 011-722-3336 FAX 011-722-2233

caress サッポロ

検索

<http://www.caress-sapporo.jp/>